

## チーム横田、士官候補生を受け入れる *Team Yokota hosts Operation Air Force cadets*

July 1, 2022

By Staff Sgt. Ryan Lackey  
374th Airlift Wing Public Affairs

6月22日から7月6日までの間、チーム横田は米空軍士官学校の士官候補生を受け入れる「オペレーション・エアフォース」を実施した。

「オペレーション・エアフォース」とは、2週間の夏季ツアー・プログラムで、3年生と4年生の訓練生を世界各地の基地に送り、卒業所要条件を満たすとともに、実際の空軍の任務に触れる重要な機会を提供するものである。

第374軍支援中隊持続サービス小隊長マーシェ・グリーン大尉は、「民間、将校、下士官兵のリーダーシップの視座に立つ士官候補生のために有意義なスケジュールを組んだ」と述べ、「訪問する士官候補生が3年生の集大成として十分な情報を得てキャリア選択を行うために必要な知識や経験を身につけられるよう、支援と運用双方の部隊から空兵が集った」と語った。

将校は、あらゆる面で空軍任務の重要な指導的役割を担っており、士官学校の夏季プログラムは、士官候補生が様々な役割を担う際の責任や期待に広く触れ、米空軍や米宇宙軍に正式に入隊する前に指導力に関する新しい視点を養う上で役立つ。

米国空軍士官学校のカレン・コシンスキー二等兵は、「参加するまで、存在さえ知らなかった空軍の一部を体験でき、とても充実した機会だった」「また、パイロットの職に就きたいという気持ちがより確かになった」とプログラムを振り返った。

チーム横田は、飛行場運用、フライトシミュレーター、C-130Jスーパーハーキュリーズ搭乗飛行、航空機整備部門、使命支援のコミュニティサービス、郵便業務等々のツアーを士官候補生に行った。

米空軍士官学校は「米国空軍と宇宙軍を率いて国家に貢献する意欲のある将校となるよう、男女を教育、訓練、鼓舞する」ことを使命とし、横田基地の空兵は、いかなる時や場所においても支援、飛行、戦闘、勝利する空軍および宇宙軍の重要な任務を遂行する将来のリーダーを支援している。

